

技術・家庭

(家庭分野)

(14) 技術・家庭（家庭分野）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、生活や社会の中から問題を見いだして、解決策を構想し、実践を評価・改善する学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (2) 衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習の充実など、言語能力の育成を図るための工夫 (3) コンピュータや情報通信ネットワークを活用して、実習等における情報の収集・整理や、実践結果の発表などの学習活動の充実を図るための工夫 (4) 学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返り、自己の成長を感じたり、学んだことをもとに自らの生活に生かしたりすることができるような工夫 (5) 衣食住などに関する実践的・体験的な活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫 (6) 生徒の興味・関心を生かし自主的、自発的な学習を促すための工夫 (7) 他の教科や小学校等との関連を図った学習活動を充実するための工夫
2 使用上の便宜	(1) 内容別配当の分量 (2) 教材・資料等の分量 (3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編成上の工夫等
3 その他	今日の課題や安全への配慮

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
2 東書	<p>●着眼点(1)について 各編の学習を深めるために、どのような見方・考え方を働かせるかが示されているとともに、生徒が自らの生活を振り返って課題を発見するための発問を掲示したり、「活動」を数多く取り上げ、生徒が主体的に調べたり、協働的に学習ができるよう工夫されている。 〔例〕 (P20, 42, 62 等)</p> <p>●着眼点(2)について 実践例や発表例を充実させ、書く能力やコミュニケーション能力等を高めることができるよう工夫されている。また、「言葉のページ」では、衣食住に関する独特な言い回しや名称についてまとめ、言葉の意味を理解することで家庭分野の学習をスムーズに進めることができるよう配慮されている。 〔例〕 (P90, 220 等)</p> <p>●着眼点(3)について コンピュータ等を用いた情報の収集や発信の仕方等を例で示し、実践のまとめや発表が適切にできるよう工夫されている。 〔例〕 (P270, 273)</p>	<p>●着眼点(4)について 各編の導入時や各節で、学習の到達目標を明確に示し、生徒が見通しをもって学習を進められるよう配慮されている。また、基本ページの「まとめの活動」や各編末の「学習のまとめ」には、「生活に生かそう」を設け、生徒が学習したことを自分自身の生活に生かせるよう工夫されている。 〔例〕 (P8～9, 171, 249 等)</p> <p>●着眼点(5)について 家族や家庭、地域での学習を充実させ、衣食住や消費生活、環境などの学習と関連させながら学べるよう工夫されている。 〔例〕 (P14～17, 213 等)</p> <p>●着眼点(6)について 生徒の興味・関心に応じた幅広い難易度の実習題材を設け、自主的・自発的に学習を行えるよう配慮されている。 〔例〕 (P63, 80～89 等)</p> <p>●着眼点(7)について 随所に「他教科マーク」を付して、他教科等との学習内容の関連を図り、教科横断的に学習を進めることができるよう工夫されている。 〔例〕 (P22, 29 等)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
6 教図	<p>●着眼点(1)について 「話し合ってみよう」「調べてみよう」など、実践的・体験的な活動を通して学ぶことができるワークが多数掲載され、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。また、問題解決的な学習ができる「学びを生かそう」のページでは、見方・考え方の視点に沿って知識や技能を振り返ることができるよう配慮されている。 〔例〕 (P14～15, 17～18, 24 等)</p> <p>●着眼点(2)について 身につけたことや感じたことなどを自分の言葉でまとめる「私の学び」や、主体的・対話的に取り組みながら思考力・判断力・表現力を養う「話し合ってみよう」、「考えてみよう」、「発表してみよう」などを数多く掲載し、資質・能力が身につくよう配慮されている。 〔例〕 (P31, 75 等)</p> <p>●着眼点(3)について 調理動画などのコンテンツを参照できる二次元コードの掲載により、生徒が基礎的な知識・技能の習得を補えるよう工夫されている。 〔例〕 (P7, 21 等)</p>	<p>●着眼点(4)について 問題解決的な学習を、手順に沿って繰り返し取り上げたり、実習題材の基本の作り方をもとに、生徒一人一人が工夫を加えることができるよう例を示したりして、生活を工夫し創造する力が育成できるよう工夫されている。 〔例〕 (P66～67, 102～103, 133 等)</p> <p>●着眼点(5)について 衣食住などに関する実践的・体験的な活動例を数多く掲載し、活動を通して知識や技能が身につけられるよう配慮されている。 〔例〕 (P26～35 等)</p> <p>●着眼点(6)について 生徒の興味・関心をひく写真やイラストの掲載、また、本文掲載ページの導入では、生徒同士や先生との会話の場面で中学生の生活の1コマを取り上げ、学習への意欲を喚起するよう配慮されている。 〔例〕 (P62, 72 等)</p> <p>●着眼点(7)について 他教科や小学校の学習等との関連を示すマークを付して、幅広い知識を身につけることができるよう配慮されている。 〔例〕 (P12, 18, 74 等)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
<p>9 開隆堂</p>	<p>●着眼点(1)について 見方・考え方を生活に生かせるよう「生活を見つめる視点」を巻頭で示すとともに、学習のまとまりごとに見通しをもち、生活の中から課題を見つけられるよう本文の記述や課題が配置され、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。 〔例〕 (P6～7, 16 等)</p> <p>●着眼点(2)について 実践的・体験的活動を通して、話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動などさまざまな言語活動ができるよう設定され、生徒同士や家族、身近な人たちとの会話等を通して、生徒自らの考えを広げて深められるよう工夫されている。 〔例〕 (P25, 50 等)</p> <p>●着眼点(3)について 項目や、実習・製作のページに二次元コードを掲載し、生徒がより主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 〔例〕 (P23, 29 等)</p>	<p>●着眼点(4)について 学習のまとまりごとに、「振り返り」や「生活にいかそう」の欄が設けられ、学習の自己評価や、身についた知識や技能などを生活に生かすことができるよう工夫されている。 〔例〕 (P77, 95 等)</p> <p>●着眼点(5)について 生徒の興味・関心が地域に向き、地域の人々との関わり大切さを理解できるよう具体例を示し、地域での生徒の生活と関連づけた学習ができるよう工夫されている。 〔例〕 (P42～51 等)</p> <p>●着眼点(6)について 生徒の身近な話題を用いながら、生徒が関心や意欲をもって主体的に学習が進められるように、考え体験する内容を充実させている。また、項目の導入では、生徒の身近な話題を用いながら生徒がそれぞれの学習に興味・関心をもって取り組めるよう配慮されている。 〔例〕 (P26～27 等)</p> <p>●着眼点(7)について 他教科と関連するページに、「他教科・他分野との関連マーク」を付して、具体的事例を示すとともに、それぞれの内容に関連する写真などを掲載し、理解しやすいよう配慮されている。 〔例〕 (P25, 55 等)</p>

2 使用上の便宜

目 項 発行者の 番号・略称	総 ページ	(1)内容別配当の分量							(2)教材・資料等の分量								
		ガイ ダンス	家 族と 家庭 生活	日 常食 と調 理の 基礎	快 適な 衣生 活	快 適な 住ま い	消 費生 活と 環境	そ の他	使用されるマーク数					I C T化 に類 する もの (二 次元 コード ・ウェブ サイト 等)	発 展的 な学 習の 題材 数	書 き込 み欄 の数	三 重県 に関 わる 記述 等
									安 全	衛 生	環 境	防 災	伝 統文 化				
2 東書	304	16	57	84	52	24	28	43	10	3	44	15	39	48	67	36	○
6 教図	308	4	58	92	50	26	44	34	16	17	10	5	9	53	52	10	○
9 開隆堂	302	12	56	90	46	20	40	38	13	16	5	2	8	102	52	28	○

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編成上の工夫等

2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさはA B判で、本文用紙は、食品の写真等が鮮やかに表現でき、裏うつりにくい紙を使用している。再生紙や植物インキを使用し、防水効果や強度を高める加工も施している。 3年間の学習の見通しが持てるよう巻頭に学習内容が示され、簡潔でスムーズな構成となるよう工夫されている。また、防災減災手帳の資料等を設け、実生活の一部として活用できるような工夫がされている。 ユニバーサルデザインフォントを使用して、文字の読みやすさにも配慮している。
6 教図	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさはA 4変型判で、表紙は防水加工がされており、汚れにくく丈夫さが長持ちするように配慮されている。また、紙は軽く、裏うつりのないものが採用されている。 生活の課題と実践では、それぞれの領域を色分けし、多くの実践例等を紹介することで、生徒が自らの生活を振り返って実践する際の参考として扱うことができるよう構成が工夫されている。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の大きさや行間にも配慮している。
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさはA B判で、再生紙や植物性のインクを使用し、環境に配慮した造りになっている。表紙には水に強い加工が施されており、長期の使用にも耐えられるよう配慮されている。 本文と参考、資料等の区分が明確で、実習や製作は横流れに展開されており、レイアウトにも工夫している。本文では文節が途中で途切れないように分かち書きが意識され、読みやすさにも考慮している。 ユニバーサルデザインフォントを利用し、読みやすい書体・大きさに配慮している。

3 その他

	今日的課題や安全への配慮
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「実習を楽しく安全に進めよう！」を設け、実習前、実習中、実習後における注意事項を記述し、安全への意識を高めてから各実習に取り組むことができるよう配慮されている。 ・実習や技能、触れ合い体験などにおける安全や衛生のポイントには「安全」マーク、「衛生」マークを付して、生徒の意識を高めるよう工夫されている。 ・「プロに聞く！」では伝統文化の継承から、今後の生活者としての展望まで考え学ぶことができるよう工夫されている。また、様々な領域で多角的な視点から学習し、職業観や勤労観を育めるよう工夫されている。 ・消費者トラブル等の事例をイラストや漫画で取り上げ、消費者としての自覚と必要な知識が身に付き、行動に結び付くよう工夫されている。
6 教図	<ul style="list-style-type: none"> ・「実習は安全に取り組もう！」では、実習時の服装や取り組み方の注意点を上げ、安全に実習を行うことができるよう配慮されている。 ・調理実習や布を用いた製作のページなどでは、事故防止や衛生のために気をつけるべきことがマークで示され、生徒が注意しながら実習に取り組めるよう配慮されている。 ・地域や社会で活躍している方や、専門学校へ進学した先輩など、学習にかかわりのある人たちからのメッセージを掲載することで、生徒が進路を想像し、考えやすくなるように配慮されている。 ・若者の消費者トラブルの例を、統計資料や具体例とともに掲載し、生徒が身近な事柄として捉えられるよう配慮されている。
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習・製作実習等の際の安全について基本的事項としてまとめ、適する場所に配置されており、「安全」マークが付してある。保育実習での配慮もされている。 ・調理実習における衛生面での記述が充実しており、特に注意を促すところには衛生マークが付されている。 ・多種多様な職種で働いている人へのインタビューなどを取り上げ、進路のヒントやキャリア教育につながるよう配慮されている。 ・消費生活の仕組みや売買契約、消費者の権利と責任について課題をもって活動できるよう工夫した構成になっている。